

令和 6 年度
社会福祉法人大田原市社会福祉協議会
事 業 報 告 書

目次

I	地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業.....	4
1	地域福祉活動計画の推進.....	4
	(1)第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画推進事業.....	4
2	小地域福祉活動の推進.....	4
	(1)地区社会福祉協議会活動支援事業.....	4
	(2)福祉委員（小地域福祉活動ネットワーク）活動推進事業.....	8
3	生活支援体制整備事業.....	10
	(1)生活支援体制整備事業.....	10
	(2)安心生活見守り事業.....	17
4	ボランティア活動の振興.....	26
	(1)ボランティアセンター推進事業.....	26
	(2)災害にも強い地域づくり推進事業.....	28
5	福祉教育（ふくし共育）推進事業.....	29
	(1)福祉教育（ふくし共育）推進事業.....	29
	(2)広報充実事業.....	31
	(3)社会福祉士養成課程等実習生の受入れ.....	32
6	社会福祉法人の地域活動貢献支援.....	32
	(1)社会福祉法人連絡会の活動支援.....	32
7	福祉活動顕彰事業.....	33
	(1)大田原市社会福祉協議会会長表彰.....	33
	(2)その他の表彰.....	34
II	福祉サービスを利用しやすくするための支援事業.....	35
1	重層的支援体制整備事業移行準備事業.....	35
2	総合相談事業の実施.....	35
	(1)心配ごと相談事業.....	35
	(2)福祉金庫貸付事業.....	36
	(3)生活福祉資金貸付事業.....	37
3	生活困窮者自立支援事業.....	38
	(1)生活困窮者自立支援事業.....	38
4	日常生活自立支援事業（あすてらす）.....	39
	(1)日常生活自立支援事業（あすてらす）.....	39
	(2)法人後見事業.....	39
III	在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～.....	39
1	介護保険サービス.....	39
	(1)訪問介護事業.....	39
	(2)受託訪問介護事業の推進.....	40

2	障害福祉サービス	40
	(1)障害福祉サービス事業	40
3	その他のサービス	41
	(1)日常生活用具貸与事業	41
	(2)リフト付き自動車貸出事業	41
	(3)軽トラック貸出事業	41
	(4)福祉サービス適正化事業	41
IV	法人の基盤強化事業	41
1	福祉のまちづくり市民参加運営事業	41
	(1)理事会・評議員会の開催	41
	(2)会員加入の促進	46
2	基金・寄付事業	46
	(1)善意銀行運営事業	46
	(2)地域福祉基金造成事業	47
	(3)大田原市社会福祉協議会寄附	48
3	栃木県共同募金会大田原市支会	49
	(1)赤い羽根共同募金事業	49
4	経営理念の施策の推進について	51
5	その他	52
	(1)佐良土多目的交流センターの管理	52
	(2)印刷機利用サービス事業	52

令和 6 年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日)

令和6年度、大田原市社会福祉協議会は、次の4つの事業に重点を置き、関係機関や団体と密接に連携・協働を図りながら、各種事業に取り組みました。

- (1) 「**地域福祉活動計画の策定・推進**」では、第 4 次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和 6 年度～令和 10 年度）の 1 年目の取り組みとして、地域住民との連携のもと計画を推進しました。推進委員会では、4 つの重点施策（地域福祉に対する意識の醸成、若者の地域福祉活動への参加促進、地域福祉の情報発信の充実、高齢者や障害のある人への理解の促進）の取り組みについて協議しました。
- (2) 「**地区社会福祉協議会への支援**」では、各地区に担当職員を配置し、第 2 層 SC とともに活動の相談や調整などの支援を行いました。令和 6 年度は、市内 3 地区（東部地区、佐久山地区、湯津上地区）が第 2 次小地域福祉活動計画の策定作業を行い、地区内の新たな課題に向き合い、解決のための計画を策定しました。また、策定地区を除く 9 地区において実施している第 1 次小地域福祉活動計画の推進状況確認アンケートをまとめ、地域の活動に関する工夫点や改善点を活かすため、集計結果を第 2 層協議体で報告しました。地区社協連絡会では、第 2 次小地域福祉活動計画の策定に向けた取り組みや活動への想いを共有し、互いに高め合い、活動のヒントを得る機会となりました。
- (3) 「**生活困窮者自立支援事業の充実**」では、複雑かつ多様な課題を抱える相談が増える中で窓口での相談対応はもちろんのこと、アウトリーチとして関係機関と自宅へ訪問をして伴走的な支援を行いました。また、生活福祉資金の借受人の中で、償還免除になった方を自立相談支援機関へつなぎ、生活困窮者自立支援事業のもと、生活再建や家計改善を実施しました。支援する際に最低生活水準に満たない方は市福祉課生活福祉係と連携を図り、支援を行いました。
- (4) 「**介護事業及び障害福祉サービス事業のサービス向上**」では、サービスが必要な方に良質で総合的なサービスが提供できるよう、保健、医療、福祉の関係機関と綿密な連携を図りながら、黒羽、湯津上の山間部を中心に訪問介護事業を行いました。また、障害福祉サービスの向上を図りました。

他の取組としては、法人後見事業実施に向け、準備を進めました。

また、「安心生活見守り事業」で地域ぐるみの見守り活動、「生活支援体制整備事業(ささえ愛おたわら助け合い事業)」、福祉委員による小地域ささえあい活動、日常生活自立支援事業、ボランティア活動の推進、共同募金運動などを実施しました。

I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

1 地域福祉活動計画の推進

(1)第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画推進事業

大田原市とともに進めている第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和6年度～令和10年度）の1年目の取り組みとして、地域住民、行政、関係機関、団体と協働しながら次のとおり実施しました。

① 第1回第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の開催

日 時： 2月18日(火)午前10時～12時

場 所：市役所 102・103 会議室

参加者：推進委員 22人

内 容：委員長・副委員長の選任

講話「地域福祉計画・地域福祉活動計画について」

講師 国際医療福祉大学 医療福祉・マネジメント学科

講師 高石 麗理湖 氏

第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画について

グループワーク（重点施策の取り組みについて）

2 小地域福祉活動の推進

(1)地区社会福祉協議会活動支援事業

①第2次小地域福祉活動計画の策定

東部地区・佐久山地区・湯津上地区の3地区社会福祉協議会において、第2次小地域福祉活動計画の策定に取り組みました。

○東部地区

月 日		主な内容	
6月5日	準備会	策定方法の検討	9人
8月27日	第1回	第1次計画の成果と課題・課題の洗い出し	22人
11月14日	第2回	課題の分析・解決策のアイデア出し	25人
12月17日	第3回	具体目標の検討	25人
1月9日		各部リーダー会議（素案の検討）	10人
1月21日	第4回	最終原案の検討	23人

※協議体会議と合同会議

○佐久山地区

月 日		主な内容	
7月10日	準備会	策定方法の検討	12人
8月21日	第1回	策定の進め方について、課題の洗い出し	25人
11月27日	第2回	地域課題の洗い出し、解決策のアイデア出し	16人
1月15日	第3回	具体的取り組み検討	22人
2月12日	第4回	最終原案の検討	23人

※協議体会議と合同会議

○湯津上地区

月 日		主な内容	
6月27日	第1回	策定の進め方、スケジュール決定、1次計画の成果と課題	19人
7月31日	第2回	課題の洗い出し	15人
9月20日	第3回	地域課題の整理・分析、解決策のアイデア出し	16人
1月22日	第4回	具体的取り組み検討・原案の作成	15人
2月4日	第5回	具体的取り組み検討・原案の検討	13人
2月20日	第6回	全体レイアウトの決定・最終案の検討	13人

※協議体会議と合同会議

②小地域福祉活動計画の推進

平成30年度～令和3年度に12地区社協で策定した小地域福祉活動計画の推進を支援しました。

令和6年度は、地区ごとに小地域福祉活動計画の推進状況を見えるようにし、工夫点や改善点を活動に生かすため、推進状況確認のアンケートを実施し、集計結果を第2層協議体で報告しました。実施地区9地区（計画策定3地区を除く）

③地区社協連絡会の開催

第2次小地域福祉活動計画の策定に向けた取り組みや活動への想いを共有し、2030年代の支えあいの地域のために、活動のヒントを得ることをねらいに開催しました。

日時・場所・参加者

地 区	期 日	時 間	会 場	参加者
湯津上・黒羽地区	3月3日（月）	午後2時～4時	大田原市役所湯津上支所102会議室	地区 20人 市社協 5人
大田原地区	3月4日（火）	午後2時～4時	大田原西地区公民館2階会議室	地区 29人 市社協 5人

内 容：「2030年代の支えあう地域のために、活動のプラスワンを目指して！
～第2次小地域福祉活動計画策定への取り組み～」

情報交換 工夫点や悩みなど

④地区社会福祉協議会活動支援

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入普通会员一人当たり250円の活動助成金を交付しました。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりです。

○活動助成の内容

地区社会福祉協議会	助成額（円）	主な活動内容
大田原東部 地区社会福祉協議会	539,450	東部地区小地域福祉活動計画の推進・策定、食事サービス（月1回）、ふれあい広場、「東部社協だより」の発行、子どもの見守り 等
大田原西部 地区社会福祉協議会	620,250	西部地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（月4回）、あったか広場、「あったかだより」の発行 等
紫塚地区社会福祉協議会	279,000	紫塚地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（月3回）、「むらさきづか社協だより」の発行 等
金田地区社会福祉協議会	633,750	金田地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（月2回）、視察研修 等

親園地区社会福祉協議会	208,750	親園地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（月2回）、視察研修、「親園福祉だより」の発行 等
野崎地区社会福祉協議会	387,250	野崎地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（月3回）、「ふくしのまち野崎」の発行 等
佐久山地区社会福祉協議会	156,000	佐久山地区小地域福祉活動計画の推進・策定、食事サービス（月3回）、「佐久山社協だより」の発行、佐久山地区外出支援事業、佐久山ふくし祭り 等
湯津上地区社会福祉協議会	248,000	湯津上地区小地域福祉活動計画の推進・策定、食事サービス（月1回）、世代間交流事業、地区社協だより「ゆうあい」の発行、ふれあいお楽しみ会、福祉まつり 等
黒羽地区社会福祉協議会	226,750	黒羽地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（月1回）、研修会、「黒羽地区社協だより」の発行 等
川西地区社会福祉協議会	261,000	川西地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（年6回）、買い物ツアー、「川西地区社協だより」の発行、視察研修 等
両郷地区社会福祉協議会	124,750	両郷地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス（年6回）学校安全パトロール、地区社協だより発行、見守り支援 等
須賀川地区社会福祉協議会	108,000	須賀川地区小地域福祉活動計画の推進、生涯学習推進協議会と連携した世代間交流、食事サービス（年6回）、視察研修 等
合計	3,792,950	

○食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食事サービス事業」に対して、1食あたり400円の助成を行ないました。配付活動はふれあいと見守り活動（訪問安否確認）も兼ねています。物価高騰分を兼ねて一時金を追加交付し、お米券、消耗品（調理用手袋）を配賦しました。

助成総額 4,376,568円：共同募金配分より

No.	助成対象団体	令和6年度実績			前年度
		配食数	対象者数	実施回数	配食数
1	東部地区社会福祉協議会	384	37	12	437
2	西部地区社会福祉協議会	2,088	49	46	2,028
3	紫塚地区社会福祉協議会	1,925	60	36	2,210
4	金田地区社会福祉協議会	550	27	24	612
5	親園地区社会福祉協議会	333	17	24	376
6	野崎地区社会福祉協議会	297	10	48	249
7	佐久山地区社会福祉協議会	1,085	39	34	1,100
8	湯津上地区社会福祉協議会	734	66	12	831
9	黒羽地区社会福祉協議会	568	67	10	530
10	川西地区社会福祉協議会	449	73	6	496
11	両郷地区社会福祉協議会	432	39	12	385
12	須賀川地区社会福祉協議会	217	29	4	212
13	大田原市ボランティア連絡協議会 黒羽支部	512	256	2	541
	合 計	9,574	769	270	10,007

(2)福祉委員（小地域福祉活動ネットワーク）活動推進事業

福祉委員は、各自治会長の推薦により170人が活動を行ないました。

自治会内のささえ活動の推進役として、福祉委員は民生委員・児童委員をはじめ、隣近所やボランティアなどの協力を得ながら、自然な小さなささえあいを見つけて知らせ、また、その効果について広める活動を行ないました。

① 「自治会ささえあいカルテ」の作成

令和6年度は、新たに55枚の提出がありました。

② 新任福祉委員研修会の開催

福祉委員の役割を理解し活動できるよう開催しました。

実施日 4月25日（木）午後1時30分～3時

会 場 金田北地区公民館多目的ホール

内 容 (1) 福祉委員活動について

(2) 体験談「先輩福祉委員の話を聞いてみよう」

(3) おしゃべりタイム「福祉委員活動について感じたこと
・不安なこと、地域で気になる人」

参加者 52人（新任福祉委員96人中）

③ 福祉委員・民生委員合同研修会の開催

地域福祉の推進役である福祉委員の活動は、自治会内の小さな自然なささえあい
に目を向け、拾い上げ、効果を認識し、地域みんなに見えるようにしていくことを
通して、自治会のささえあいの良さの意識を高め、5年後10年後の地域づくりにつ
なげることをねらいとしています。福祉委員と民生委員児童委員等、地域の活動を
推進する方が協力し合えるつながりをつくり、ささえあいの地域づくりを考える今
の地域福祉課題にふれ、つながり合える支えあいの地域づくりを考えるきっかけと
なるように開催しました。

【開催日時】

地 区	期 日	会 場	参 加 者	
			福祉委員	民生委員
黒羽・両郷	6月19日（水） 午前10時～12時	黒羽川西地区公民館	28人	14人
川西・須賀川	6月19日（水） 午後2時～4時	黒羽川西地区公民館	31人	13人
東部・親園・ 佐久山	7月23日（火） 午前10時～12時	大田原東地区公民館	25人	23人
西部・紫塚・ 金田	7月24日（水） 午後1時30分 ～3時30分	金田北地区公民館	18人	23人
野崎 （ささえあい連 絡会議）	9月5日（木） 午後6時15分 ～8時	野崎研修センター	7人	8人
湯津上	11月11日（月） 午後1時30分 ～3時30分	湯津上庁舎	4人	8人

テーマ：「自然なつながりの中にある「キラキラ☆」を見つけよう！」

内 容：（1）「ささえあいの地域づくりの大切さ」

（2）グループでの話し合いと発表

「自然なつながりの中にある「キラキラ☆」を見つけよう！」

④ささえあいネット通信の発行

ささえあいネット通信を9月と2月に発行し、福祉委員、自治会長、民生委員に配付しました。

3 生活支援体制整備事業

(1)生活支援体制整備事業

市からの受託事業である「ささえ愛おおたわら助け合い事業（生活支援体制整備事業）」は、第2層コーディネーターの配置と、支え合いの地域づくりを進める第2層協議体の取り組みを行っています。

安心生活見守り事業の地区担当主任が第2層生活支援コーディネーターとして委嘱され、12地区ごとに第2層協議体を設置し、運営の支援を行っています。協議体だよりの発行、安心生活見守り事業の活動や地区社協などの、多様な主体と連携して進められるよう地域の実情に合わせた支え合いの地域づくりのための話し合いを進めています。

○第2層協議体活動支援

① 主任・SC 全体会議等

開催日	内 容	参加者数
4月10日	事業方針説明・年間計画	30人
6月5日	居場所づくりの進め方や居場所のを見つけ方について、2地区のSCが発表し、グループで話し合い	24人
8月7日	「重層支援体制整備事業について」研修会を開催	26人
10月2日	「いっそう にそうつながる会」として、第1層協議体委員と情報交換	27人
10月30日	「群馬県高崎市生活支援体制整備事業の取組み」視察	24人
12月4日	「高齢者の消費者トラブルについて」について学び、グループで話し合い	19人
2月5日	「小地域福祉活動計画推進と主任・SCの地域とのかかわり」グループで話し合い	25人
2月10日	大田原市安心生活見守り事業推進会議 (見守り事業・生活支援体制整備事業に関して)	46人

② ささえ愛フェスタ IN 大田原の開催

自分の地区を見つめ直し、相互に学び合い、より良い活動のヒントを得て、各地区の活動内容に活かしていくことをねらいに、第2層協議体がH29年度に12地区に設置してから初めての活動発表・交流会を開催しました。

- ・テーマ 「活動のヒントを見つけよう！～ささえ愛の形は12地区12色～」
- ・日時 12月2日（月）午後2時～4時10分
- ・場所 生涯学習センター
- ・参加者 120人 第2層協議体委員、第2層SC、第1層協議体委員、第1層SC、県社協職員、他市町社協職員、他市町第1、2層SC 他
- ・内容 (1) 発表タイム
6会場に分かれ、第1部・第2部で6地区ごとに活動発表
(2) 地区ごとの共有タイム
12地区ごとに集まり、各発表から自分の地区で取り入れたいことについて共有

③ みんなでつくる つきそい よりそいボランティア講座の開催

地域の現状を知り、誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けることができるよう、病院や買い物などに付き添い、寄り添うことができるボランティアを養成することをねらいに開催しました。

・開催日時

期 日	内 容	参加人数
1月20日(月) 13:30～15:00	・開講式 ・アイスブレイク ・地域の現状と課題 ・ボランティア活動について	13人
2月3日(月) 13:30～15:00	・傾聴について（外部講師）	17人
2月17日(月) 13:30～15:00	・自己決定と共感的理解（外部講師） ・つきそい よりそいボランティア活動について（話し合い）	15人

・講 師 社会福祉士 増渕 祐子氏

④ 地域での困難ケース事例検討会

地域での事例検討を行い、地域資源やニーズの情報共有を行うとともに、具体例を通して問題提起することによって、地域のささえあいの力を高めることをねらいに開催しました。

- ・日時 6月21日（金）午後7時～8時30分
- ・場所 生涯学習センター

- ・参加者 紫塚地区第2層協議体委員 17人
- ・内容 (1) 事例の生活状況から、困っていることを考える。
(2) 困りごとに対して、「自分や地域みんなでできそうなこと」を話し合う。

各地区の状況

①東部地区協議体

目指す地域像：

「東部から広がる共助の輪 ～気遣う心 支え合う力 こぼれる笑顔～」

月 日		主な内容	参加人数
6月18日	第1回	・協議体会議と東部地区福祉関係諸事業について確認 ・第1次計画推進状況アンケート結果をもとにグループに分かれて協議	22人
8月27日	第2回	・第2次小地域福祉活動計画策定に関する協議 第1次計画の成果と課題について	28人
11月14日	第3回	・第2次小地域福祉活動計画策定に関する協議 課題の分析・解決策の検討	25人
12月17日	第4回	・第2次小地域福祉活動計画策定に関する協議 目標と具体目標について検討	25人
1月21日	第5回	・第2次小地域福祉活動計画策定に関する協議 最終原案の検討	23人
3月11日	第6回	・地域防災に関する研修 講話「忘れてはいけない3.11」	16人

※第2次小地域福祉活動計画策定委員会と合同開催

②西部地区協議体

目指す地域像：「あったかな 笑顔あふれる 西部地区

～いつでも 誰でも 声をかけ愛 つながる和～」

月 日		主な内容	参加人数
5月29日	第1回	令和6年度の事業計画について、グループ討議	25人
7月10日	第2回	グループ討議（しくみづくり・つながりづくり・きづなづくり）、全体会議（各グループの情報共有）	28人
11月13日	第3回	グループ討議（進捗状況の確認及び今後の取り組み）、全体会議（各グループの情報共有）	23人
1月29日	第4回	グループ討議（進捗状況の確認及び今後の取り組み）、全体会議（各グループの情報共有）全体会議（1年間の振り返りと情報の共有）	20人
2月20日	研修会	研修 講話「～茹で蛙になる前に～」 講師 県生活支援体制整備事業アドバイザー青田賢之氏	19人

③紫塚地区協議体

目指す地域像：「つながりと支え合いで、笑顔とあたたかさにあふれる、
住んでいてほっとする地域 ～ほっとすまいる紫塚～」

月 日		主な内容	参加人数
6月21日	第1回	事例検討（地区内の困難事例にどうかかわるか）	17人
9月20日	第2回	DIG（災害図上訓練）をやってみよう（地域の災害に対してどうかかわっていくか）	18人
12月5日	第3回	研修 講話・グループワーク：「紫塚地区社会福祉協議会設立から約40年の軌跡と奇跡」 講師：一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事 廣瀬隆人氏	28人
3月6日	第4回	R6年度の振り返り 第2次小地域福祉活動計画策定について	14人

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・全戸配布（年4回）

④金田地区協議体

目指す地域像：「手を取り合い 絆深まる 金田の未来」

月 日		主な内容	参加人数
6月25日	第1回	研修会 講話「茹で蛙になる前に～あなたの老後を支えるしくみ～」 講師：栃木県生活支援体制整備アドバイザー 青田賢之氏、グループに分かれて意見交換、地元事業者の参加	36人
8月27日	第2回	具体的な活動のための話し合い（「人づくり」「絆づくり」「地域・場所づくり」のグループ）	33人
11月28日	第3回	具体的な活動のための話し合い（「人づくり」「絆づくり」「地域・場所づくり」のグループ）	28人
1月28日	第4回	具体的な活動のための話し合い（「人づくり」「絆づくり」「地域・場所づくり」のグループ）	33人

※協議体だより発行・全戸配布（年1回）

⑤親園地区協議体

目指す地域像：「ゆかい パワフル 絆のちかその」

月 日		主な内容	参加人数
6月28日	第1回	地域課題と対応策の検討	16人
8月23日	第2回	地域課題と対応策の検討	18人
10月25日	第3回	地域課題と対応策の検討	13人
10月31日	視察研修	地区社協合同で「防災」についての学ぶ（福島県いわき市）	23人
11月10日	PR活動	地区文化祭にて「推しの木」「気になる木」のボード等に来場者から地域への意見を収集した	多数
12月27日	第4回	地域課題と対応策の検討、小地域福祉活動計画推進状況確認シート依頼	13人
2月28日	第5回	小地域福祉活動計画推進状況確認シート集計結果に基づく話し合い	14人

※協議体だより発行・全戸配布（年1回）

⑥野崎地区協議体

目指す地域像：①のびのび ②ざわざわ ③きずな和く輪く

月 日		主な内容	参加人数
5月16日	第28回	地域課題と対応策に関する話し合い（「のびのび（安心・安全）」「ざわざわ（活性化）」「きずな和く輪く（人づくり）」の3つのグループ）	30人
7月25日	第29回	地域課題と対応策に関する話し合い	28人
9月26日	第30回	地域課題と対応策に関する話し合い	27人
11月20日	第31回	地域課題と対応策に関する話し合い	27人
1月29日	視察研修	高根沢 元気アップ村 ひょうたん作品展示会の視察（地区社協と合同）	20人
1月30日	第32回	地域課題と対応策に関する話し合い ・小地域福祉活動計画推進状況確認シートの記入	24人

※協議体だより発行・全戸配布（年1回）

⑦佐久山地区協議体

目指す地域像：「笑顔咲く佐久山」

月 日		主な内容	参加人数
4月24日	視察研修	下野市 & ナース視察研修（協議体、おもいやり隊合同）	18人
5月15日	第1回	佐久山地区社協の推進内容と体制について 「ささえあいの地域づくり講演会」、視察研修ふりかえり	23人
8月21日	第2回	第2次小地域福祉活動計画について 策定の進め方について、課題の洗い出し	25人
11月27日	第3回	第2次小地域活動計画の策定検討 課題の洗い出し・解決策のアイディア出し	21人
1月15日	第4回	第2次小地域活動計画の策定検討 具体的な取り組み検討	22人
2月12日	第5回	第2次小地域活動計画の策定検討 最終原案検討	24人

※第2次小地域福祉活動計画策定委員会と合同開催

⑧湯津上地区協議体

目指す地域像：「LOVE ゆづかみ」

月 日		主な内容	参加人数
6月27日	第1回	第2次小地域福祉活動計画策定検討 策定委員会設置、策定の進め方、1次計画の成果と課題	19人
7月31日	第2回	第2次小地域福祉活動計画策定検討 課題の洗い出し	15人
9月20日	第3回	第2次小地域福祉活動計画策定検討 地域課題の整理、分析、解決策のアイディア出し	16人
1月22日	第4回	第2次小地域福祉活動計画策定検討 具体的な取り組みについて協議・原案の作成	15人
2月4日	第5回	第2次小地域福祉活動計画策定検討 具体的な取り組みの協議、検討	13人
2月20日	第6回	第2次小地域福祉活動計画策定検討 全体レイアウト等の決定・最終案の決定	13人

※第2次小地域福祉活動計画策定委員会と合同開催

⑨黒羽地区協議体

目指す地域像：「ロマン香る 黒羽」

月 日		主な内容	参加人数
7月31日	第1回	黒羽地区協議体って何？ 防災についての話し合い	16人
9月11日	研修	地区社協・見守り隊、協議体研修会（防災講座）	43人
12月16日	第2回	ささえ愛フェスタの振り返り 見守り、防災についての話し合い	16人
2月26日	第3回	これまでの振り返り 小地域福祉活動計画推進状況アンケート結果から	14人

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・利用者、隊員配付、班回覧、他（年12回）

⑩川西地区協議体

目指す地域像：「おたがいさまで ささえ愛ながら生きていく 川西地区」

月 日		主な内容	参加人数
6月14日	第1回	今年度の取り組み地域課題と対応策の検討	20人
7月27日	研修	日光市八日市公民館視察研修	17人
11月30日	第2回	これまでの振り返り	12人
3月1～2日	研修	全国若者まちづくりサミット研修（東京）	3人
3月4日	研修	群馬県高崎市倉渕地区くらしくらぶ視察研修	16人
3月14日	第3回	これまでの振り返り、委員からの活動発表	33人

※毎月第2金曜日におやまだい未来カフェを開催

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・全戸配布、他（年6回）

⑪両郷地区協議体

目指す地域像：「やさしいいっぱい やすらぎの両郷」

月 日		主な内容	参加人数
6月25日	研修	県生活支援体制整備アドバイザー講話、グループワーク両郷の未来予想図	27人
8月29日	第1回	地域のなかでのつながり、交流の場所等	23人
12月6日	第2回	子どもから大人まで楽しめる交流の場所	14人
2月20日	第3回	子どもから大人まで楽しめる交流の場所	15人

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・全戸配布、他（年6回）

⑫須賀川地区協議体

目指す地域像：「声をかけあい みんなで協力して生活できる 須賀川にしよう」

月 日		主な内容	参加人数
6月26日	第1回	地域課題の解決策	14人
9月26日	第2回	地域課題の解決策、お出かけ交流支援事業	12人
3月19日	第3回	これまでの経過、次年度計画	11人

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・班回覧、他（年6回）

○地区交流拠点の検討・実施

交流拠点活動では、サロンや地区公民館やほほえみセンター等に生活支援コーディネーター（SC）が出向き、地域の皆さんの相談ごとや、地域で気になること、地域で活躍している人など、地域の皆さんの声を聞いて情報を集め、地域の困りごとを、地域の人材や、良いところを生かして解決できるようにつないだり、内容によって、行政、市社協、地域包括支援センター等、専門機関につないだりしました。

（野崎地区・佐久山地区・黒羽地区・川西地区・両郷地区・須賀川地区）

(2)安心生活見守り事業

少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりを行う「安心生活見守り事業」の一部を大田原市から受託しています。平成21度から地区社会福祉協議会を実施エリアとして、自治会ごとの見守りや生活支援などを、市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携し、事業を実施しています。

本事業は、地域の見守り支援が必要な方の把握、地域ネットワークの形成、情報の共有を行ない、平成26年度には市内12地区での見守り隊（見守りの会）が発足し、全地区で事業を展開してきました。

令和6年度は、「生活支援体制整備事業（ささえ愛おおたわら助け合い事業）」や地区社会福祉協議会と連携して、住民主体の地域福祉を推進し、居場所活動や多世代交流、防災を切り口としたささえあいの活動など、地域の課題解決力を高めるため内容の充実を図っています。また、昔ながらのご近所づきあいに加え、見守り活動を通じた地域のつながりづくりが行われています。

訪問での見守り、外からの見守りや電話での安否確認など、利用者が孤立しないように工夫をしながら活動をしています。

・見守り隊員数 2,388 人

・見守り件数 77,525 件

・利用者数 1,236 人
〈内訳〉 (人)

ひとり暮らし	676
高齢者世帯	272
日中ひとり	179
日中高齢者世帯	48
その他	61

〈内訳〉 (件)

1 声掛け安否確認	31,047
2 買い物支援	572
3 緊急時の通報	26
4 簡単な修繕	290
5 ゴミだし	855
6 役所の手続き	273
7 外からの見守り	41,529
8 外出手伝い	455
9 家事手伝い	752
10 その他	1,726

① 各地区の状況

i) 黒羽見守り助け合い隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成 22 年 3 月 16 日
自治会数	12 自治会
見守り利用者数	103 人
隊員数	93 人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
5 月 30 日	第 1 回隊長会議(活動報告、活動計画)	32 人
5 月 30 日	推進会議(活動報告、活動計画、利用者確認)	54 人
7 月 22 日	第 1 回茶話会	47 人
9 月 11 日	見守り隊・地区社協・協議体合同研修「防災講座」	43 人
10 月 20 日	くろばね秋まつり(見守り P R 活動、募金活動)	8 人
10 月 21 日	第 2 回茶話会	30 人
11 月 6 日	買い物ツアー(ザ・ビックエクストラ那須塩原店)	19 人
12 月 18 日	黒羽小学校児童が書いた年賀状を見守り利用者に郵送	129 人
1 月 20 日	第 3 回茶話会	38 人
3 月 17 日	第 2 回隊長会議(事業報告、次年度計画)	29 人
4 月～3 月	黒羽見守り助け合い隊便り発行(毎月 1 回)	—

ii) 佐久山おもいやり隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成 23 年 2 月 8 日
自治会数	17 自治会
見守り利用者数	139 人
隊員数	118 人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
4 月 8 日	茶話会(旧福原小学校区)	35 人
4 月 24 日	下野市視察合同研修(おもいやり隊・協議体・地区社協)	18 人
5 月 24 日	第 1 回推進会議事業概要説明	69 人
7 月 26 日	第 1 回隊長会議自治会助成金配布等	24 人
8 月 28 日	会食会(※中止)	—
9 月 5 日	講演会(認知症)講師晴風園(職員)	40 人
10 月 2 日	第 2 回隊長会議	25 人
10 月 18 日	山形県南陽市合同視察研修・居場所づくり視察研修	22 人
11 月 17 日	佐久山産業文化祭参加バザー	—
12 月 12 日	買い物ツアー(ザ・ビックエクストラ、道の駅)	28 人
3 月 28 日	新旧隊長会議	41 人
9～3 月	なごみの広場 (7 回)	—
9～3 月	いこいの広場 (大神・佐久山南部・荒町)	—

iii) 紫塚地区見守り隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成 23 年 7 月 24 日
自治会数	7 自治会
見守り利用者数	67 人
隊員数	62 人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
4 月 26 日	新旧隊長会議(活動報告、活動計画、役員改選について)	19 人
5 月 31 日	臨時隊長会議(見守り隊助成金について協議)	15 人
5 月 31 日	推進会議(活動報告、活動計画、フリートーキング)	39 人
9 月 27 日	紫塚小学校ウォークラリー支援	—

10月19日 ～20日	西地区文化祭に出展 (見守り隊と協議体の活動内容)PR	—
12月9日	隊員研修会「救急法」研修会	39人
2月21日	チーム会議(活動報告・活動計画他)	7人
3月初旬～ 中旬	利用者宅訪問によるふれあい活動(防災に関する声掛け)	—
3月21日	隊長会議(市推進会議報告、活動報告・活動計画他)	12人
年4回	お便りの発行配布	—
10月19日 ～20日	西地区文化祭に出展 (見守り隊と協議体の活動内容 PR)	—

iv) ちかその思いやり隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成24年11月30日
自治会数	10自治会
見守り利用者数	86人
隊員数	127人

【事業経過】

月 日	事業内容	参加人数
4月26日	第1回チーム会議	7人
5月8日	第1回隊長会議	22人
5月24日	認知症学習講座	29人
7月19日	ご近所救急講座	21人
7月30日	情報交換会	14人
9月4日	第2回チーム会議	6人
9月13日	第2回隊長会議	17人
10月22日	事業「プチっと交流お出かけ買い物支援」	37人
10月31日	地区社会福祉協議会合同研修会	23人
11月10日	親園地区文化祭「思いやり隊バザー」	—
2月5日	第3回チーム会議	6人
3月25日	新旧隊長会議(隊長引継ぎ等)	31人
年3回	お便りの発行配布	—

v) 西部地区あったか思いやりの会

【会の概要】

発足式年月日	平成 25 年 2 月 4 日
自治会数	8 自治会
見守り利用者数	168 人
会員数	103 人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
4 月 22 日	チーム会議・地区会長会議合同会議(事業決算報告、事業計画予算他)	29 人
5 月 9 日	推進会議(全体会議及び地区会)	62 人
6 月 11 日	神明町茶話会	12 人
7 月 25 日	浅野地区茶話会	21 人
9 月 25 日	加治屋地区茶話会	30 人
10 月 19 日 ～20 日	西地区文化祭参加(あったか思いやりの会 PR)	—
10 月 27 日	西部地区社協主催あったか広場参加 (あったか思いやりの会 PR)	—
1 月 1 日	あったか思いやりの会便りNo.12 全世帯配付	—
1 月 26 日	原町地区茶話会	16 人
3 月 18 日	チーム会議・地区会長会議合同会議(事業報告、次年度計画)	19 人
年 1 回	お便りの発行配布	—

vi) 須賀川地区見守り隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成 25 年 10 月 29 日
自治会数	11 自治会
見守り利用者数	84 人
隊員数	100 人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
5 月 17 日	第 1 回隊長会議(事業決算報告、事業計画予算)	16 人
5 月 18 日	推進会議	31 人
7 月 25 日	第 2 回隊長会議(見守り状況情報交換、お出かけ交流支援事業)	19 人
10 月 28 日	お出かけ・交流支援買い物ツアー	42 人

11月21日	防災講座(見守り隊員、地域役員対象)	31人
12月8日	須賀川新そばまつり(見守りPR活動、募金活動)	3人
3月19日	第3回隊長会議(事業報告、次年度計画)	18人
4月～3月	須賀川地区見守り隊便り発行(年6回)	—
4月～3月	交流拠点開設(毎月第2、第4火曜日)	—

vii) ゆづかみ見守り隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成25年11月8日
自治会数	13自治会
見守り利用者数	117人
隊員数	197人

【事業経過】

月 日	事業内容	参加人数
4月26日	第1回チーム会議(役員改選、事業報告及び決算報告、事業計画・収支予算)	5人
5月17日	第1回隊長会議(委嘱状交付、本隊役員、事業報告、事業計画、見守り活動記録、地区隊の活動助成金、令和5年度事業予定)	31人
7月11日	ふれあいお楽しみ会(高齢者招待事業：地区社協と共催)	59人
10月18日	地域安全のつどい(主催：大田原警察署、市防犯協会等)において、防犯功労団体として表彰	1人
10月27日	ふくしま祭り、公民館文化祭(ゆづかみ見守り隊PR)	5人
11月17日	天狗王国まつり(ゆづかみ見守り隊PR)	5人
5月7日～ 3月25日	ささえ愛サロン「言ノ葉喫茶」火曜日開催(28回)	延べ349人

viii) 東部地区見守り隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成25年11月19日
自治会数	26自治会
見守り利用者数	100人
隊員数	581人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
5 月 12 日	富士見ハイツ見守り隊見守り活動説明会	20 人
5 月 14 日	第 1 回チーム会議(令和 6 年度事業計画、予算案等の協議、大田原小ふくし共育について)	9 人
5 月 27 日	第 1 回隊長会議(役員改選、事業報告、事業計画、見守り事業並びに生活支援体制整備事業の推進等)	29 人
9 月 20 日	推進会議、見守り隊隊員研修・第 2 回隊長会議 ・ 講話「元気が出る見守り活動」 ・ 意見交換会	39 人
11 月 14 日	認知症サポーター養成講座	13 人
1 月 29 日	第 2 回チーム会議(本年度の事業報告、次年度事業計画についての協議)	8 人
2 月 18 日	第 3 回隊長会議(本年度の事業報告、消費者トラブル講話、見守り状況情報交換)	32 人
	お便りの発行配布(2 回)	—

ix) 両郷地区見守り隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成 26 年 6 月 25 日
自治会数	11 自治会 (9 地区隊)
見守り利用者数	69 人
隊員数	157 人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
5 月 21 日	第 1 回隊長会議(事業報告、事業計画、活動費、デマンドお楽しみツアー等)	37 人
11 月 18 日	デマンド体験お楽しみツアー第 1 班(両郷・河原・寺宿地区)	11 人
11 月 25 日	デマンド体験お楽しみツアー第 2 班(中野内・川田地区)	9 人
11 月 29 日	デマンド体験お楽しみツアー第 3 班(大久保・久野又・大輪・川田地区)	15 人
1 月 1 日	両郷中央小学校児童から見守り利用者へ年賀状送付	70 人
3 月 7 日	第 2 回隊長会議・隊員研修会(防災対策)	36 人
4 月～3 月	両郷地区見守り隊便り発行(年 6 回)	—
4 月～3 月	郷郷カフェ(毎月第 2 火曜日)	—

x) 川西地区見守り隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成 26 年 11 月 19 日
自治会数	14 自治会 (17 地区隊)
見守り利用者数	108 人
隊員数	266 人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
6 月 14 日	第 1 回隊長会議(事業報告、事業計画、研修)	49 人
7 月 28 日	小さな小さな夏祭り(おやまだいおひさまカフェ)	100 人
9 月 29 日	玉藻の稻荷神社祭り(篠原カフェ)	50 人
1 月 26 日	黒羽大花市(見守り PR 活動、自主財源確保)	3 人
2 月 28 日	佐野市伏見地区社会福祉協議会視察受け入れ	42 人
3 月 14 日	第 2 回隊長会議(事業報告他)	33 人
4 月 26 日 5 月 10 日 ・ 24 日	おやまだいおひさま・未来カフェ・郡司新聞店コラボ企画能登半島地震支援チャリティー映画上映会	71 人
4 月～3 月	篠原カフェ(8 回)、寒井本郷さくらカフェ(7 回)	160 人
4 月～3 月	青年団カフェ(4 回)	101 人
4 月～3 月	おやまだいおひさまカフェ(8 回)	158 人
4 月～3 月	移動カフェ「おひさま」(12 回)	111 人
4 月～3 月	おやまだい未来カフェ(11 回)	131 人
4 月～3 月	築地カフェ、下町 2 区カフェ、大豆田カフェ、余瀬カフェ、桧木沢サイプレスカフェ、上町たんぽぽ会、上町 P K K の会、上町より愛ひろば、ジャガイモ仲間の会、わらぼっち多賀、桧木沢よつばカフェ、寒井北部いちようカフェ、下町 2 区公民館居酒屋	—
4 月～3 月	川西地区見守り隊便り発行(毎月)(回覧、隊員、利用者、協力機関 50 力所)	—

xi) 金田地区おもいやり隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成 26 年 11 月 28 日
自治会数	26 自治会 (32 地区隊)
見守り利用者数	92 人
隊員数	361 人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
4 月 16 日	チーム会議	12 人
4 月 23 日	新隊長会議	38 人
5 月 30 日	推進会議・研修会～手を取り合う地域を目指して～ 「健やかな高齢期を迎えるために 高齢者に多い事故の予防と手当て、急病への対応」	58 人
10 月 16 日	認知症サポーター養成講座(金田南地区)	27 人
10 月 25 日	認知症サポーター養成講座(金田北地区)	30 人
11 月 9 日	金田地区文化祭(PR 活動)	—
3 月 5 日	チーム会議	11 人
3 月 10 日	隊長会議	32 人
	お便りの発行配布(2 回)	—

xii) 野崎地区見守り隊

【隊の概要】

発足式年月日	平成 27 年 2 月 19 日
自治会数	11 自治会
見守り利用者数	115 人
隊員数	228 人

【事業経過】

月 日	事 業 内 容	参加人数
3 月 30 日	のざき桜まつりに合わせ見守り PR 活動	約 150 人
3 月～5 月	見守り活動説明会(6 地区隊にて開催)	132 人
5 月 16 日	チーム&隊長会議(事業計画説明、他)	19 人
9 月 5 日	見守り隊共催ささえあい連絡会 (自治会長、民生委員、福祉委員の交流会)	34 人
11 月 10 日	野崎文化祭 PR 活動(ブースへの参加者)	230 人
12 月 5 日	隊員研修(認知症サポーター養成講座)	25 人
2 月 20 日	チーム&隊長会議(新年度計画、他)	17 人
4 月～3 月	居場所活動支援 ・野崎NT：7 回・上薄葉：2 回・薄葉団地：1 回 ・薄葉第 3 団地：6 回・東町：1 回	—
	お便りの発行配布(3 回)	—

② 安心生活見守り事業 会議等

月 日	内 容	会 場
2月10日	安心生活見守り事業推進会議	市役所101、102会議室

○救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布している「救急医療情報キット」に関し、市社協では令和2年度に市高齢者幸福課と覚書を交わし、市社協窓口での申請受付並びに、各地区の民生委員や見守り隊員（会員）と協力して、見守り利用者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行ないました。

令和6年度配布本数 58本

4 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンター推進事業

① 中高生が考える福祉のまちづくり I N大田原

感受性豊かな中高生が、大田原市の現状や福祉の未来を考え、あらゆる人が安心安全に暮らすことができる福祉のまちづくりの方法などについて学ぶことで、これからの地域を担っていく一人となれるよう、講座を開催しています。

今年度の講座では、「災害」をテーマに、DIG（災害図上訓練）を通して、地域の方と楽しく意見交換をしながら、災害が起きるとどのような問題が起こっていくのか、地域にはどのような危険箇所があるのか、地域で頼れる人たちはどんな人たちかを知り、災害に備えて、普段の生活から「つながりを作っておくこと」「地域を知っておくこと」の重要性を知り、自分たちも地域の中で大きな「力」となることに気づくことをねらいに実施しました。

日 時：8月8日（木）午後1時～午後4時

場 所：トコトコ大田原3階 大会議室

参加者：中高生16人、地区社協関係者6人、国際医療福祉大学実習生5人

内 容：テーマ 災害はいつやってくるかわからない

～災害をイメージし、防災へとつなげていこう～

講話「福祉について」

グループワーク「DIG：災害図上訓練」

② ボランティアサロン

○若者の出会いと発見のボランティアサロン

これからの地域を担っていく若者と、ボランティア活動に関して意見交換をしたり、実際に地域で活動している方々と交流したりする時間を通して、若者にとって近いようで遠い「地域」というものを身近に感じてもらい、主体的に地域活動

や福祉のまちづくりに参加しやすい環境を作っていくことを目的として実施しました。

第1回

日 時：7月4日(木) 午後4時～5時

場 所：黒羽高校

参加者：黒羽高校ボランティア部生徒5名 教諭2人

内 容：ボランティアに関する基礎知識講話
アイスブレイク「ペーパータワー」

第2回

日 時：10月31日(木) 午後4時～5時

場 所：黒羽高校

参加者：黒羽高校ボランティア部含む生徒12人 教諭2人

ゲスト：鎗木哉文氏(車いす利用者)

内 容：社協に関する基礎知識講話・ゲスト講話「多様性について」

○つきそい よりそい ボランティアサロン

「つきそいよりそいボランティア養成講座」を受講し、病院や買い物などに付き添い寄り添うボランティア活動に賛同された方を対象に、「通院」をテーマにボランティア活動の具体的な内容について話し合いました。

日 時：3月24日(月) 午後2時～4時

場 所：市役所A別館2階会議室

参加者：5人 職員3人

③ 市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動への連携・協力を行ないました。

④ ボランティア活動保険の加入促進

種別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入者数
基本プラン	350 円	1,040 万円	4,325 人	4,534 人
天災・地震補償プラン	500 円	1,040 万円	105 人	164 人
特定感染症重点プラン(R6 廃止)			0 人	10 人
計			4,430 人	4,708 人

⑤ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア情報の提供、各福祉施設のボランティア要請の情報提供等を行いました。ボランティアに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の橋渡し（ボランティアコーディネート）を行いました。

区分	団体登録		個人登録	ボランティア相談・ コーディネート(再掲)
	団体数	登録者数		
令和6年度	136 団体	5,142 人	55 人	52 件(9 件)

⑥ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、小・中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めました。

品 目	延べ利用数	品 目	延べ利用数
車いす	0 台	プロジェクター	1 台
アイマスク	0 枚	移動式スクリーン	1 脚
点字盤	0 台	書籍等	0 冊
点字プリンター	0 台	ハンドマイク	3 本
杖（T字型）/ 白杖	0 本	誘導棒	21 本
CDプレイヤー	0 台	その他(テント・釜セットなど)	70 件

(2)災害にも強い地域づくり推進事業

①災害ボランティアセンター運営連絡会の開催

災害時に被災者の支援として開設される災害ボランティアセンターが迅速かつ円滑に開設できるように、日頃から関係団体・機関等のつながりづくりを進めるため、平時の活動として開催しました。

実 施 日： 9月12日（木）午後3時30分～5時

会 場： 大田原市社会福祉協議会(本所) 会議スペース

協議内容：

- (1) 令和6年度能登半島地震の現状と支援報告
- (2) これからの災害ボランティアセンター運営について
- (3) グループワーク：情報交換・災害ボランティアセンターの運営、設置場所、レイアウトについての協議

参加団体：民生委員児童委員協議会連合会、ボランティア連絡協議会、那須野ヶ原青年会議所、IUHWボランティア委員会、市（福祉課、危機管理課）、市社会福祉協議会

②大田原市災害ボランティアセンター運営サポーター養成研修の開催

地域における災害ボランティア活動への理解や意識醸成を図り、災害VC運営を共に進める人材を増やすとともに、平時からのつながりづくりの促進を目指すことを目的に開催しました。

実施日： 2月2日（日）午前10時～午後3時30分

会場： 大田原市生涯学習センター

講師： 特定非営利活動法人 にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李 仁鉄 氏

内容： 講話 「災害時の支援について」
演習 「災害支援活動の安全と安心(オリエンテーション考案)」

参加者： 個人ボランティア、那須野ヶ原青年会議所、民生委員、国際医療福祉大学生、防災士会、市ボランティア連絡協議会、市女性団体連絡協議会、市社会福祉協議会 計 59 人

5 福祉教育（ふくし共育）推進事業

(1)福祉教育（ふくし共育）推進事業

福祉とは「ふだんのくらしのしあわせのためのもの」であり、自分を含めたみんなにかかわることである。子どもから高齢の方まで、助け合いながら地域でつながりをもって暮らしていけるように、ともに生きる地域を創っていくことを目指し福祉教育（ふくし共育）を推進しました。

①福祉教育副読本「ともに生きる」の発行

令和4年度に第7回改訂を行った福祉教育副読本「ともに生きる」を、市内の小学校1年生（552部）、4年生（610部）、及び中学1年生（576部）を対象に配付し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めました。

②学校等の福祉教育（ふくし共育）への支援

児童・生徒が、地域の福祉課題を地域の方と一緒に解決するプロセスから共に学び、共に生きる地域づくりを推進するため、「学校と地域がつながる福祉教育プログラム」への取り組みを支援しました。

小・中学校等での福祉教育の現場へ、地区社会福祉協議会、地区見守り隊（会）をはじめ、障がい当事者の方や社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援しました。

また、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などコーディネートを行いました。その際には、子どもたち自身が地域でつながりをもって暮らしていけるよう、地域で「共に生きる力」をつけることを目的に、地域に暮らす障がい当事者や地域福祉活動をしている方と、児童・生徒をつなぐ働きかけを行ないました。その他児童・

生徒の相談に応じました。

【学校等への福祉教育支援状況一覧】

	実施日	学校名	対象 学年 (年)	参加 者数 (人)	協力 人数 (人)	内容
1	6月21日	佐久山小	4	17	3	障がい当事者の方と学ぼう
2	6月26日	大田原小	4	63	10	災害と助け合い～小学生編～ (避難所運営ゲーム：HUG)
3	6月27日	大田原小	4	66	10	災害と助け合い～小学生編～ (避難所運営ゲーム：HUG)
4	6月28日	金田北中	1	59	6	地域で活動する方のお話を聞こう
5	7月2日	奥沢	5	6	3	認知症にやさしい地域を考えよう
6	7月5日	金丸	5	8	3	認知症にやさしい地域を考えよう
7	8月29日	黒羽小	4	28	2	障がい当事者の方と学ぼう
8	9月9日	羽田小	4	4	2	地域で活動する方のお話を聞こう
9	9月10日	宇田川小	4	17	3	障がい当事者の方と学ぼう
10	11月1日	紫塚小	5	72	10	災害と助け合い～小学生編～ (避難所運営ゲーム：HUG)
11	11月13日	両郷中央小	4	12	2	認知症にやさしい地域を考えよう
12	11月26日	親園中	1	48	6	災害と助け合い～中学生編～ (災害図上訓練：DIG)
合計				400	60	

③ふくし共育研修会の開催

問題が表面化されにくい、「助けて」の声を出すことができない等、ヤングケアラーなどの問題に対し、当事者の視点や支援者の視点を踏まえ、子どもたちの学びにどう活かしていくか、また学校、地域がどうかかわっていけるのかを考える一歩とすることを目的に実施しました。

実施日： 11月28日(木) 午後2時～4時30分

会 場： 金田北地区公民館

内 容： 講話「助けて」と言える地域に向けて」

シンポジウム「当事者（経験者）の想い・支援者の想い」
 講 師： 国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科
 講師 中村 哲也 氏
 一般社団法人とちぎ市民協働研究会
 代表理事・社会教育士 廣瀬 隆人 氏
 ゲスト： 社会福祉法人邦友会おおたわら総合在宅ケアセンター
 青木 さやか 氏
 那須塩原市きょうだい会 Not alone～ひとりじゃない～代表
 相馬 朋恵 氏
 大田原市学校教育課大田原市教育支援センター相談部
 相談統括 スクールソーシャルワーカー馬籠 清貴 氏
 参加者： 65 人 教員・地区社会福祉協議会・ボランティア、行政、社協

④大田原ふくし共育ボランティア「グループささえ」支援

「グループささえ」は、大田原市内のふくし共育（福祉教育）を支援する団体として、ふくし共育のねらいである、みんなで支え合える地域づくりのために、地域福祉を進めるとともに、地域活動に子どもを巻き込んで、ともに取り組み、ともに学ぶことをみんなで考えて、みんなで進めることを目的として活動しています。

社協として、偶数月に 1 回行われる定例会に出席し、ふくし共育支援への協力依頼や、各種研修の案内などを行い、「グループささえ」の活動支援を行いました。

日 程	内 容	出席人数
4 月 2 日	第 11 回定期総会	8 人
6 月 4 日	「HUG」の実習	8 人
8 月 6 日	ふくし共育報告、「ふくしって？」勉強会	7 人
10 月 1 日	ふくし共育報告、ふくし共育プログラム紹介	7 人
12 月 1 日	ふくし共育報告、福祉教育研修会報告	8 人
2 月 4 日	福祉教育研究会協議内容の紹介	6 人

(2)広報充実事業

①機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」を発行、裏表紙をボランティア情報紙「だいすき」として併せて発行しました。

各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介や社協の活動内容の紹介、及び地域のみなさんに考えていただく地域の課題等の周知等、紙面の充実に努めました。（年4回市内全戸配布）

また「おおたわらこども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみが

もてるよう、また、地域でのつながりの大切さを学び、気づきのきっかけになるような紙面を心掛けて作成、児童・生徒に配布しました。（10月に小・中学校を通じて配布）

②ホームページによる広報活動

インターネット・ホームページ（URL：<https://ohawara-shakyo.or.jp/>）により、本会の活動状況、イベントの開催、サービス内容等を広報しています。

(3)社会福祉士養成課程等実習生の受入れ

福祉に携わる人材の育成をねらいに、社会福祉士養成課程等実習生を受け入れました。実習生への指導やアドバイスを行うことで、社協職員のOJT¹等資質の向上や社協の評価にもつながりました。

① 国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科 4人

ソーシャルワーク実習 8月22日～9月12日（内23日間）

② 那須看護専門学校 7人

「地域包括ケアシステムでの看護師の役割について学ぶ」

10月31日（1日）

6 社会福祉法人の地域活動貢献支援

(1)社会福祉法人連絡会の活動支援

平成30年10月から大田原市内の14社会福祉法人の参加で、法人本来の事業に加えて、地域のための公益活動を進めています。

○社会福祉法人連絡会の主な活動内容

①設備、備品の貸出

法人の施設設備、備品を活用するため、地域の皆様に貸し出します。

②地域出前講座講師派遣

法人の職員が、地域の講座や研修に出向きます。

③ふくし総合相談

法人の業務範囲に留まらず、地域の皆様からの相談に幅広く対応します。

④広報活動

広報紙「地域とともに生きる法人」通信第6号発行

⑤生活支援体制整備事業

第2層協議体委員として、市内12地区の協議体へ参加しています。

¹ OJT : **On-the-Job Training**（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）または現任訓練（げんにんくんれん）とは、職場で実務をさせることで行う従業員の職業教育のこと。

○社会福祉法人連絡会の参加法人

- (福) あいのかわ福祉会 (那須共育学園 他)
- (福) ^{あんねい}安寧 (山百合荘 他)
- (福) エルム福祉会 (エルムの園、S E L Pみなと、ヒカリノカフェ 他)
- (福) ^{けんしんかい}謙心会 (にちにちそう 他)
- (福) ^{ここみかい}心美会 (保育園 ベビーエンゼル)
- (福) ^{しせいかい}至誠会 (晴風園、みどりの郷)
- (福) ^{しょうゆうかい}章佑会 (やすらぎの里、若草園 他)
- (福) ^{せんこまかい}千駒会 (おおたわら保育園)
- (福) ^{どうあいかい}同愛会 (四季の風、かねだの里 他)
- (福) ひかり会 (ひかりのぞき保育園、ひかりうすば保育園)
- (福) フレンズ会 (保育園チャイルド)
- (福) ^{ほうゆうかい}邦友会 (風花苑 他)
- (福) ^{まど ひ}窓の陽 (ふるさとホーム那須、那須愛恵苑 他)
- (福) 大田原市社会福祉協議会

7 福祉活動顕彰事業

(1)大田原市社会福祉協議会会長表彰

第27回大田原市福祉ふれあいまつり 10月12日(土)

- 小沼 儀市 (親園南区自治会福祉委員)
- 滝田 法幸 (松原自治会福祉委員)
- 平井 久子 (両郷自治会福祉委員)
- 吉成 明美 (須賀川上自治会)
- 磯 親芳 (個人ボランティア：紫塚地区社協役員)
- ふくし共育ボランティアグループささえ (ふくし共育支援)
- ピノキオお話会 (読み聞かせボランティア)
- おはなし会コアラ (読み聞かせボランティア)
- 図書館ボランティアさくらんぼ (読み聞かせボランティア)
- 大田原スクールガードリーダー (スクールガードリーダー)
- 大田原市家庭教育オピニオンリーダー連絡会 (たまごの会) (家庭教育オピニオンリーダー)
- 図書館ボランティアいちょう (図書館活動サポート)
- 大田原市傾聴ボランティアハートフルハート (傾聴ボランティア)
- シルバー大学校大田原市同窓会 (ボランティア喫茶、清掃活動)
- とちぎボランティアネットワーク県北支部 (フードバンク、子ども食堂活動)

城山公園をきれいにする会（清掃活動）
旧須賀川小学校保存会（学校保存活動）
やみぞあづまっぺ協議会（地域活性活動）
大田原市更生保護女性会（若者健全育成活動）
大田原国際交流会（国際交流活動）
芭蕉の里観光ボランティアふるさとを知る会（観光案内等の地域活動）
手話サークル～with～（手話サークル）

(2)その他の表彰

○全国社会福祉協議会会長表彰
該当なし

○栃木県知事表彰

第30回栃木県民福祉のつどい 8月29日（木）

ボランティア功労

黒羽地区社会福祉協議会、川西地区社会福祉協議会
両郷地区社会福祉協議会、須賀川地区社会福祉協議会

共同募金運動協力団体又は協力者

富池自治会 印南 行雄

○栃木県社会福祉協議会会長表彰

第29回栃木県民福祉のつどい 8月29日（木）

社会福祉法人・社会福祉施設・社会福祉団体関係功労者

（福）邦友会 なす療育園 下泉 秀夫

特別養護老人ホームおおたわら風花苑 佐藤 ひろ子
吉成 弘子

おおたわら総合在宅ケアセンター 黒尾 加代子

（福）至誠会 特別養護老人ホーム晴風園みどりの郷 大島 静香

小規模多機能晴風園みどりの郷 萬谷 佐知子
篠田 真由美

特別養護老人ホーム晴風園 戸沢 モト
竹内 智浩
平井 恵子
塩田 洋美

○栃木県共同募金会会長表彰

第29回栃木県民福祉のつどい 8月29日（木）

仲町自治会 植田 勝

明宿自治会 五十嵐 孝夫

Ⅱ 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

1 重層的支援体制整備事業移行準備事業

令和8年度からの本事業実施に向け、庁内や関係機関、市内社会福祉法人等との包括的な相談支援体制構築のため、事例検討を通じて顔の見える関係性づくりや相互理解を目的とした総合相談研修や重層事業実施に向けた意見交換会、また、庁内連携を目的として、地域共生社会に関する研修を実施しました。

(1)総合相談研修の実施 計3回実施

(2)実施に向けた意見交換会の実施

内容：重層的支援体制整備事業に関する説明及び質疑応答

：意見交換

①相談支援における情報共有の方法について

②つながるところ無く義務教育を終える子どもたちに必要な伴走支援について

③各機関で把握している社会資源の共有について

(3)庁内部課長を対象とした地域共生社会の実現及び重層事業の説明会の実施

(4)大田原市重層的支援体制整備事業推進に係る研修会の実施

内容：大田原市の重層的支援体制整備事業の実施に向けて

：大田原市での取り組みについて

：地地域共生社会と包括的支援体制の構築に向けて

講師 東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科 准教授 大石 剛史 氏

2 総合相談事業の実施

(1)心配ごと相談事業

大田原市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行ないました。市民の日常生活上の心配ごとの相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、市役所A別館及び社協各支所内に相談所を開設しました。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けました。

【心配ごと相談開催日】

地区	相談日	時間	場所
大田原	毎週金曜日	午前 9 時～12 時	市役所 A 別館
湯津上	毎月第 1 水曜日	午後 1 時～3 時	佐良士多目的交流センター
黒羽	毎月第 3 木曜日	午前 10 時～12 時	社協黒羽支所

【心配ごと相談種別ごとの年間利用状況（総件数17件）相談者11人】

種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計		健康・衛生		教育・青少年	1
年金		医療		心身障害者（児）福祉	
職業・生業		精神衛生	2	母子福祉・父子福祉	
住宅		人権・法律	3	老人福祉	1
家族	5	財産	1	苦情	2
結婚		事故		その他	2
離婚		児童福祉・母子保健			

(2)福祉金庫貸付事業

大田原市社会福祉協議会福祉金庫資金貸付事業実施要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っています。 善意銀行の拠出金を原資に、1借受人あたり2万円又は3万円を限度に貸し付けをする制度として実施しています。

○貸付・償還状況

前年度末残額 A		951,611 円	前年度償還未済額 988,000 円
令和6年度	貸付金額 B	1,469,000 円	新規貸付件数 71 件
	償還金額 C	1,342,000 円	償還完了件数 61 件
	不納欠損額 D	0 円	不納欠損件数 0 件
	預金利子 E	481 円	預金利子
	地域福祉事業へ振替 F	0 円	
	残高 G	845,092 円	年度繰越 (A - B + C + E - F)

※年度末貸付償還未済額は 1,115,000円

(3)生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行ないました。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」の4種類です。低所得者世帯、失業者、障がい者世帯及び高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施しました。

○貸付・償還状況

貸付	新規貸付 4件	福祉資金(福祉費)3件、教育支援資金 1件
償還	償還中 26件	総合支援資金 4件 福祉資金(福祉費) 2件 緊急小口資金 6件 教育支援資金9件 離職者支援資金 1件 臨時特例つなぎ資金 1件 緊急小口資金(台風特例) 1件 療養介護等資金 1件 福祉資金(障害者自動車購入費) 1件
	償還完了 3件	緊急小口資金1件 教育支援資金 1件 総合支援資金 1件
	償還不能 0件	
	償還免除 0件	

○生活福祉資金フォローアップ事業

新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業等により収入の減少があった世帯を対象とした生活福祉資金緊急小口資金等特例貸付(令和4年9月末日終了)をした世帯に対して、アンケート送付や電話により、その後の生活状況を伺い、生活に困っている世帯には、償還返済を遅らせる償還猶予申請や生活困窮者自立支援事業(住宅確保給付金、生活保護の申請、ハローワークへ連絡など)につなぎました。

○貸付・償還状況

No.	資金名	貸付件数	貸付総額	償還中	償還猶予中	償還完了	償還免除	償還免除額
1	緊急小口資金	633	111,050,000	239	28	193	173	31,300,000
2	総合支援資金(初回)	342	283,920,000	327	27	46	182	95,130,000
3	総合支援資金(延長)	104						
4	総合支援資金(再貸付)	136						
合 計		1,215	394,970,000	566	55	239	355	126,430,000

※償還免除者には、死亡・行方不明も含む。

○相談件数 相談、アンケート発送、状況調査確認 など 延べ 714 件

3 生活困窮者自立支援事業

(1)生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業の「自立相談支援」を大田原市から受託し、経済的かつ社会的孤立の問題を抱える生活上の困難に直面した方に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を図れるよう、行政、ハローワーク等の関係機関との連携をとりながら、相談者の困窮からの早期脱却と困窮者を支援する地域づくりを目的に取り組みました。

○相談件数（※令和6年度に新たに受付をした件数）

生活困窮者自立支援事業		新規相談数 100 件	
病気や健康、障がいのこと	4	地域との関係について	0
住まいのこと	7	家族関係・人間関係について	0
収入・生活費のこと	53	子育て・介護のこと	1
家賃やローンのこと	1	ひきこもり・不登校	0
税金や公共料金のこと	1	DV/虐待	0
債務について	3	食べる物がない	12
仕事探し・就職について	8	その他	10
仕事上の不安やトラブルについて	0	計	100 件

○支援実施延べ回数※令和7年3月末現在

No.	相談内容	年間合計
1	電話相談・連絡	48 回
2	訪問同行・支援	22 回
3	面談	168 回
4	その他他機関との会議（支援調整会議以外）	1 回
5	他機関との電話照会・協議	8 回
6	その他	15 回

4 日常生活自立支援事業（あすてらす）

(1)日常生活自立支援事業（あすてらす）

県社会福祉協議会から受託し、“あすてらすおおたわら”として、高齢者、障がい者等で判断能力が不十分な方の福祉サービス利用援助や金銭管理支援サービス、書類預かりサービスを下記のとおり実施しました。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めました。

○あすてらす利用状況

令和6年度	利用者数	備 考
年度当初	72人	
新規契約	12人	高齢7人、知的障害2人、精神障害3人
解約	4人	高齢2人、知的障害1人、精神障害1人 (死亡1人、施設管理2人、本人管理1人)
年度末	80人	

- ・専門員 4名
- ・生活支援員 23人（社協職員9人含む）
- ・主な支援内容

福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス（預貯金のおし入れ、福祉サービス利用料等の支払）、書類等預かりサービス（預金通帳や証書等の預かり）、相談

(2)法人後見事業

地域で生活する方の権利擁護支援として、令和6年6月より法人後見事業を開始しました。受任をした場合、成年後見人等として、身上保護、財産管理の支援を実施します。

運営委員会

実施日	内容
10月10日(木)	委嘱状交付、委員長・副委員長の選任、実施要綱等の説明

Ⅲ 在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～

1 介護保険サービス

(1)訪問介護事業

介護保険の指定事業所として、要介護認定を受けた利用者にホームヘルパーを派遣し、入浴を含む身体介護や家事の支援を行う事業。また、市の介護予防日常生活支援総合事業の訪問型サービス事業を実施しました。

	令和 6 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	18,175,710 円	16,599,990 円	109.4%
年間延べ利用者数	818 人	743 人	110.0%
月平均利用者数	68.1 人	61.9 人	110.0%
ホームヘルパー数	14 人	14 人	100%

(2)受託訪問介護事業の推進

①介護保険の対象とならない高齢者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を大田原市から受託しましたが、利用者はいませんでした。

	令和 6 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	0 円	0 円	—
年間延べ利用者数	0 人	0 人	—
月平均利用者数	0 人	0 人	—

②妊娠中または出産後の養育不安や孤立感を抱える養育世帯に対しホームヘルパーを派遣する「養育支援ヘルパー派遣事業」を大田原市から受託し、養育支援を実施しました。(令和5年度新規)

	令和 6 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	163,500 円	82,500 円	198.1%
年間利用者数	4 人	4 人	100%
年間延べ訪問回数	38 回	15 回	253.3%

2 障害福祉サービス

(1)障害福祉サービス事業

障害者総合支援法と児童福祉法に基づく在宅サービス事業及び大田原市地域生活支援事業を受託し、ホームヘルパーを派遣しました。

○障害福祉サービス（居宅介護）

	令和 6 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	11,264,887 円	11,258,507 円	100%
年間延べ利用者数	263 人	254 人	103.5%
月平均利用者数	21.9 人	21.2 人	103.3%

○同行援護サービス

	令和 6 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	639,102 円	651,260 円	98.1%
年間延べ利用者数	46 人	46 人	100%
月平均利用者数	3.8 人	3.8 人	100%

○移動支援

	令和 6 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	158,100 円	183,950 円	85.9%
年間延べ利用者数	9 人	10 人	90.0%
月平均利用者数	0.75 人	0.8 人	93.7%

3 その他のサービス

(1)日常生活用具貸与事業

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、車椅子などを無償貸与しました。

○車いす貸与状況

	貸出件数	保有台数
本所	109件	30台
湯湯津上支所	3件	3台
黒羽支所	30件	12台
計	142件	45台

(2)リフト付き自動車貸出事業

車いすを使用していて公共交通機関の利用が困難な市内在住の在宅者の方に対して、在宅福祉の向上を図るために、車いす用リフト付き自動車を無料で貸出を行ないました。

リフト付き自動車貸出件数 97件

(3)軽トラック貸出事業

ボランティア活動・生活困窮者支援、その他地域福祉活動をする時に、物資輸送の援助として軽トラックの貸出を行ないました。

軽トラック貸出件数 5件

(4)福祉サービス適正化事業

事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図りました。また 3 人の委員による第三者委員会を設置しています。

IV 法人の基盤強化事業

1 福祉のまちづくり市民参加運営事業

(1)理事会・評議員会の開催

①理事会

【第1回理事会】

○開催日時： 5月29日（水）

○会 場：市役所 301・302 会議室

報 告

- 報告第1号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務
執行状況報告について
- 報告第2号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について
- 報告第3号 令和5年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算
（第2号）について（専決事項）

議 案

- 議案第1号 令和5年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の
承認について
- 議案第2号 令和5年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の
承認について
- =監査報告=
- 議案第3号 令和6年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰につい
て
- 議案第4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部を変更する定款
の制定について
- 議案第5号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正す
る規程の制定について
- 議案第6号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する
規程の制定について
- 議案第7号 令和6年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第1
号）について
- 議案第8号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会法人後見事業実施要綱の制
定について
- 議案第9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会法人後見運営委員会設置要
綱の制定について
- 議案第10号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会法人後見ケース検討会議設
置要領の制定について
- 議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員候補者の推薦につい
て
- 議案第12号 令和6年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第1回評議員会
の開催について
- 議案第13号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委
員の選任について

議案第14号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について

議案第15号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員候補者の確認について

議案第16号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会常務理事の選任について

【第2回理事会】

○開催日時： 12月12日（木）

○会 場：市役所 301・302 会議室

報 告

報告第4号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第5号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務執行状況報告について

報告第6号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第7号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第8号 令和6年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰被表彰者（追加）の決定について（専決事項）

報告第9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第10号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員取扱規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部を改正する要綱の制定について（専決事項）

議 案

議案第17号 令和6年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行配分払い出しの実施について

議案第18号 令和6年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第2回評議員会の開催について

【第3回理事会】

○開催日時： 3月10日（月）

○会 場：市役所 301・302 会議室

報 告

報告第12号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第13号 令和6年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第2号）について

議 案

- 議案第19号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する細則の制定について
- 議案第20号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第21号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第22号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員人事評価の実施に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第23号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心生活見守り事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第24号 令和7年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について
- 議案第25号 令和7年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について
- 議案第26号 令和7年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第3回評議員会の開催について

②評議員会

【第1回評議員会】

○開催日時： 6月24日（月）

○会 場：市役所南別館2階会議室

報 告

- 報告第1号 決議に関わる利害関係の確認の報告について
- 報告第2号 令和5年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第2号）について（専決事項）
- 報告第3号 令和6年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰について

議 案

- 議案第1号 令和5年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について
- 議案第2号 令和5年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算の承認について
- =監査報告=
- 議案第3号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部を変更する定款の制定について
- 議案第4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について

- 議案第 5 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 6 号 令和 6 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 1 号）について
- 議案第 7 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会法人後見事業実施要綱の制定について
- 議案第 8 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会法人後見運営委員会設置要綱の制定について
- 議案第 9 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会法人後見ケース検討会議設置要領の制定について
- 議案第 10 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員の選任について

【第 2 回評議員会】

○開催日時： 12 月 20 日（金）

○会 場：市役所 301、302 会議室

報 告

- 報告第 4 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について
- 報告第 5 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）
- 報告第 6 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）
- 報告第 7 号 令和 6 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰被表彰者（追加）の決定について（専決事項）
- 報告第 8 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）
- 報告第 9 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員の取扱規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）
- 報告第 10 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部を改正する要綱の制定について（専決事項）

議 案

- 議案第 11 号 令和 6 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行配分払い出しの実施について

【第 3 回評議員会】

○開催日時： 3 月 21 日（金）

○会 場：市役所 301、302 会議室

報 告

- 報告第 11 号 決議事項に関わる利害関係の報告について

報告第12号 令和6年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第2号）について（専決事項）

議案

議案第12号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する細則の制定について

議案第13号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第14号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第15号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員人事評価の実施に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第16号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心見守り事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第17号 令和7年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第18号 令和7年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

(2)会員加入の促進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特別会員、賛助会員の加入促進に努めました。

○会員加入の状況

会費の種類	会費1口	会員数	会費納入額	前年比	前年
普通会员	500円	15,172件	7,585,900円	99.0%	7,661,300円
特別会費	1,000円	507件	953,000円	101.1%	942,000円
賛助会費	5,000円	32施設	165,000円	103.1%	160,000円
計			8,703,900円	99.3%	8,763,300円

2 基金・寄付事業

(1)善意銀行運営事業

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めました。

○預託の状況

①金銭預託

金 銭 預 託	収 入 の 部	科目	金額	預託者（敬称略）
		前年度繰越金	3,693,576 円	
		預託金額	0 円	
		預金利息	2,007 円	
		合計	3,695,583 円	
	支 出 の 部	科目	金額	配分先
		配分金額	69,000 円	市ボランティア連絡協議会
			22,000 円	大田原市いきいきクラブ
			22,000 円	市障がい児者等保護者会
		合計	113,000 円	
	収入支出差引残高		3,582,583 円	

②物品預託

	寄付者氏名（敬称略）	預託物品		使途
1	高田裕	タオル	23 本	福祉施設、保育園等へ配布
2	連合栃木那須地域協議会	タオル	100 枚	福祉施設、保育園等へ配布
3	ライオンズクラブ国際協会 ZC 菊池昭二	食料品		生活困窮世帯へ配布
4	(株)広築 那須工場	食料品		生活困窮世帯へ配布
5	(株)株式会社ダイナム	食料品		生活困窮世帯へ配布
6	(株)GOOD NEWS	食料品		生活困窮世帯へ配布
7	ライオンズクラブ 4R・2Z・ZC	食料品		生活困窮世帯へ配布
8	青木さやか	車いす	1 台	黒羽支所で貸出用

(2)地域福祉基金造成事業

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金（ぎんなん基金）」を設け、寄附、利息等による基金の運用を行っています。

○基金運用状況

科目	金額	摘要	
前年度末基金原資残高①	173,624,935円		
令和6年度寄付金額②	118,833円	川上ナヲ	100,000円
		日本基督教団西那須野協会	10,000円
		匿名	8,833円
預金利息等③	637,015円	国債、公債利息	374,000円
		公募公債利息	259,000円
		定期預金利息	1,706円
		普通預金利息	2,309円
区分間繰入金支出④	11,637,015円	令和6年度原資取崩額	11,000,000円
		預金利息分繰出	637,015円
本年度末基金原資残高 ①+②+③-④	162,743,768円		

(3)大田原市社会福祉協議会寄附

大田原市の地域福祉推進のため、市民等から寄せられた寄付を事業費として適正に運用しました。

No.	寄付者氏名 (敬称略)	寄付金額	令和5年度累計
1	匿名	10,000円	10,000円
2	ライオンズクラブ4R-2Z ZC	20,000円	30,000円
3	大田原市グラウンド・ゴルフ協会	56,000円	86,000円
4	大田原市建設業協同組合	20,000円	106,000円
5	増渕キヨ子	5,000円	111,000円
6	シルバー大北校0B 燦燦カラオケ会 佐藤 武	5,700円	116,700円
7	連合栃木那須地域協議会	15,000円	131,700円
8	(株)大岩建設 代表取締役 岩見 武	50,000円	181,700円
9	匿名	1,000円	182,700円
10	栃木県大衆音楽家協会県北支部 羽石正男	20,000円	202,700円
11	栃木県女性教育推進連絡協議会大田原支部菊水会	21,571円	224,271円
12	(株)エツリン	2,097円	226,368円

13	匿名	1,000 円	227,368 円
14	蜂巢貞美	30,000 円	257,368 円
15	こどもふれあい祭実行委員会	20,000 円	277,368 円
16	(株)宇都宮ヤクルト販売	87,000 円	364,368 円
17	栃木県大衆音楽家協会県北支部 羽石正男	20,000 円	384,368 円
18	匿名	6,200 円	390,568 円
19	黒羽商工会女性部	7,483 円	398,051 円
20	キャノンメディカルシステムズ労働組合・ キャノン電子管デバイス労働組合	259,147 円	657,198 円
21	匿名	1,000 円	658,198 円
22	那須スポーツパーク グラウンド・ゴルフ ホールイ ンワン基金	90,000 円	748,198 円
23	匿名	5,000 円	753,198 円
24	認定こども園 西那須野幼稚園	15,000 円	768,198 円
25	匿名	30,000 円	798,198 円
26	スターライト友の会 代表 星 里美	8,965 円	807,163 円
27	匿名	10,000 円	817,163 円
28	匿名	10,000 円	827,163 円
29	カラオケスタジオーちゃん 羽石正男	20,000 円	847,163 円
30	黒羽商工会青年部	61,989 円	909,152 円
31	匿名	1,000 円	910,152 円

3 栃木県共同募金会大田原市支会

(1)赤い羽根共同募金事業

社会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10月1日から12月28日までの期間、募金活動を行ないました。8月27日に市支会委員会を開催し、募金運動に対する取り組み方針、募金配分先を協議しました。

○共同募金実績一覧 （単位：円）

募金種別	件数	募金実績額	目標額	差引額	達成率
戸別募金	13,971 件	5,426,780 円	5,410,000 円	16,780 円	100.3%
特別募金	1,041 件	2,641,938 円	2,650,000 円	-8,062 円	99.7%
学校募金	41 件	285,185 円	370,000 円	-84,815 円	77.1%
街頭募金	39 件	433,448 円	240,000 円	193,448 円	180.6%

職域募金	82 件	575,187 円	430,000 円	145,187 円	133.8%
イベント募金等	38 件	393,322 円	319,000 円	74,322 円	123.3%
合計	15,212 件	9,755,860 円	9,419,000 円	336,860 円	103.6%

令和 6 年度募金からの配分：令和 7 年度の配分予定は 6,515,860 円

○共同募金配分金事業

令和6年度は実績に応じて、県共同募金会から B 募金配分6,434,773円が大田原市社協に配分されました。

○「おおたわらを良くするしくみ」応援助成事業

共同募金の助成を通じ、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の新たな課題を発見し、問題解決をしようとしている福祉活動を応援すること、また、助成による活動の成果を発信することで、共同募金の使いみちの透明性を図り、共同募金への理解を深めることを目的として実施しました。

【審査委員会】

1 月 27 日（月）に審査会を実施しました。

○助成対象（助成は令和 7 年度に実施します。）

No.	団体名	申請事業	申請金額
1	愛サロン「天神さん」	生活支援事業 （高齢者の健康づくりと居場所づくり）	50,000 円
2	栄町倶楽部	各種講座、みんなの集い	50,000 円
3	ジャガイモ仲間の会	野菜作りと直売	50,000 円
4	野崎ひょうたんクラブ	ひょうたんの栽培と ひょうたん作品の普及、指導、支援	50,000 円
5	大田原市 傾聴ボランティア ハートフルハート	個人宅や施設での傾聴ボランティア活動	50,000 円
6	篠原カフェ	居場所づくりと 伝統文化の継承	50,000 円
7	東部気楽会	趣味や茶話会を通しての健康寿命の 延伸と、認知症予防活動	50,000 円
合 計			350,000 円

○令和 6 年度に事業に取り組んだ団体

No.	団体名	申請事業	助成金額
1	加治屋元気クラブ	輪投げ・卓球・健康麻雀	50,000 円
2	カラオケ会	高齢者のための『居場所活動』	50,000 円
3	野崎ニュータウンふれあい・サロン	ふれあい・ミニサロン	50,000 円
4	PPKK の会	高齢者の居場所活動	50,000 円
5	ジャガイモ仲間の会	ジャガイモ仲間の会	50,000 円
6	薄葉団地お茶ラカ会	薄葉団地お茶ラカ会	50,000 円
7	より愛ひろば	ささえあいサロン活動	50,000 円
8	言ノ葉喫茶	居場所づくり活動	50,000 円
9	築地カフェ	築地カフェ	50,000 円
合 計			450,000 円

4 経営理念の施策の推進について

～基本施策：総合相談体制の充実～

市全体での包括的な相談支援体制を構築していくために、まずは関係機関同士の意識共有を図り、組織を超えた連携、情報共有、相談体制の仕組みをつくることを目指して勉強会を開催した。

第 1 回総合相談全体研修

日 時 7 月 25 日（木）午後 2 時～4 時

場 所 大田原市役所南別館 2 階会議室

参加者 社協職員、市職員、 法人連絡会加盟法人職員、関係機関職員 計 39 人

内 容 ① 講話：地域共生社会実現のために必要なこと

国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科講師 高石 麗理湖 氏

② 事例検討（あったらいいな、できたらいいなを考えるグループワーク）

第 2 回総合相談全体研修

日 時 11 月 6 日（水）午後 2 時～4 時

場 所 大田原市役所南別館 2 階会議室

参加者 社協職員、市職員、法人連絡会加盟法人職員、関係機関職員 計 33 人

内 容 ①講話：地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備について

栃木県保健福祉部保健福祉課 主任 海老澤 孝行 氏

講話：共有することの重要性について

国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科講師 高石 麗理湖 氏

②事例検討（社会資源の開発を踏まえたグループワーク）

第3回総合相談全体研修

日 時 2月4日(火) 午後2時～4時

場 所 大田原市役所南別館2階会議室

参加者 社協職員、市職員、 法人連絡会加盟法人職員、関係機関職員 計36人

内 容 ①事例検討(専門職、所属機関の強みを活かしたグループワーク)

②総 評

国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科講師 高石 麗理湖 氏

～基本施策:SNSの活用～

若い世代や自治会未加入世帯への情報発信となるように公式X(旧Twitter)を各係に設定し、運用を開始した。各係担当週を割り振り、事業報告や地域活動の紹介などの更新を行った。

5 その他

(1)佐良土多目的交流センターの管理

(2)印刷機利用サービス事業